

提携ニュース2000

豊中・サンマテオ 姉妹都市

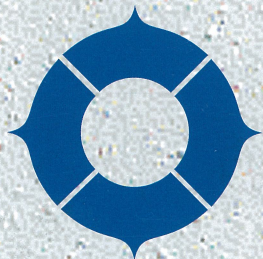
Sister City Affiliation Toyonaka-San Mateo



表敬訪問時の記念撮影

Toyonaka City

San Mateo City



Welcome to TOYONAKA



サンマテオ市 親善訪問団が、 協会設立35周年を 記念して来豊

新大阪駅にて
歓迎の横断幕で迎える三河会長や少年野球連盟の人たち

1963年（昭和38年）10月8日、豊中市がサンマテオ市と姉妹都市提携を結んだ翌年に、当協会が設立され、1999年（平成11年）で35周年を迎えました。これを記念し、併せて、両市の少年野球チームの定期交流試合の年でもありましたので、同年8月12日に、クレアー・マック市長やサンディ・ウエンドランド会長をはじめとしたサンマテオ市親善訪問団（大人11人、少年野球チーム19人）が来豊し、19日に帰国の途につくまで、さまざまな交流が行われました。



マクドナルド東豊中店にて

対面式と歓迎夕食会

8月12日午後0時47分新大阪駅のホームで豊中・サンマテオ姉妹都市協会の三河会長や少年野球連盟の人たちが、歓迎の横断幕で迎えるなか訪問団を乗せたひかり157号が、無事到着しました。一行は旅の疲れも見せず、出迎えの人たちの知った顔を見つけては、久しぶりの再会をなつかしんでいました。

親善訪問団は、マイクロバスで新御堂筋（国道423号）を北上。途中マクドナルド東豊中店で昼食。店長、店員の皆さんから盛大な歓迎を受けました。

午後3時から千里阪急ホテルで、少年野球連盟によるホストファミリーとの対面式が開催され、対面をすませた両市の子供たちは、それぞれのホストファミリー宅に向かいました。

その日の午後5時30分から同ホテルにて、サンマテオ市親善訪問団（大人11人）の歓迎夕食会を開催しました。

三河会長と豊中市野球連盟の桑村会長からの歓迎挨拶の後、親善訪問団を代表して、サンマテオ姉妹都市協会のサンディ・ウエンドランド会長が、あいさつをされました。続いて、豊中市議会の乗光議長が乾杯の後、お互いの写真撮影など終始、和やかな雰囲気の中で歓談が続きました。



千里阪急ホテルでの
ホストファミリーとの対面式



歓談する
ジョージ・ムサンテさん
（中央）



記念品の交換をする
左から、三河会長、齋藤豊中市助役、乗光豊中市議会議長

Courtesy Visit

豊中市役所を表敬訪問

来豊2日目の8月13日には、サンマテオ市親善訪問団が、市役所を表敬訪問し、当日は、豊中市議会議員、豊中市の理事者、協会役員、少年野球選手、少年野球連盟役員、ホストファミリーなどの皆さんが出席のもと、式典が行われました。

豊中市の齋藤助役と豊中市議会の乗光議長の歓迎あいさつの後、親善訪問団を代表して、クレアー・マック市長があいさつされました。続いて双方の出席者の紹介とともに、お互いに記念品の交換を行い、サンマテオ市側からは市章入りのトレイなどが、豊中市側からは特製記念時計などを贈りました。

表敬訪問の後、訪問団一行は、市議会議場の見学や、かつて、サンマテオ市から寄贈されたレッドウッドの木をなつかしそうに見上げたりしていました。

午後からは訪問団の大人11人が市の施設見学を行いました。武道館では、弓道の練習をしていた人たちの中へ、飛び入りで参加することができました。また、プラネタリウム館では、四季の星座を楽しみました。



Toyonaka City

クレアー・マック市長 あいさつ



あいさつするクレアー・マック市長

皆様にお会いでき、このような貴重な機会を与えられたことを心から感謝いたします。

サンマテオ少年野球チームの選手が自己紹介をしながらホストファミリーに対面する姿を見て、心が熱くなり、胸がいっぱいになるような感動を覚えました。

友好親善を深めるには、クリントン大統領やエリツイン大統領、そしてブレアー首相や小渕総理大臣のような方々ではなく、ここに集う私たちが続けてきたような少年野球チームの交流や市民の交流が重要だと実感しています。もし豊中とサンマテオのような友情の絆が、もっと多くの町に広がっていけば、世界はさらに素晴らしくなるでしょう。

もし私たちの親善活動を「ビン詰め」にして、世界中の国々に分かち合うことができれば、パキスタンとインドのような問題、セルビアの危機、朝鮮半島の南北問題などはなくなるでしょう。豊中とサンマテオは世界中の模範になると思います。私たちが築き上げてきたような姉妹都市としての素晴らしい活動を、今から始めたいという町は他にもあるはずです。

長く流れ続ける歴史のなかでの35年は、短い期間かもしれませんが、私たちの35年間にわたる親善活動は、これからも継続していかなければなりません。子供たちの親善、スポーツや文化、教育の交流を通して友好をすすめていきたいと思ひます。きっといつか世界中の町が私たちの交流の輪に加わり、世界に平和が広がることを願ひます。

私たちの友達、豊中の皆様に感謝いたします。私たちを厚く迎えて下さり、子供たちと共に友情と愛の交流を分かち合う場を与えていただき、心からお礼申し上げます。



熱闘 ローズ 球場

ROSE

TOYONAKA BASEBALL STADIUM

1979年夏に豊中市少年野球チームが、国際児童年を記念して、サンマテオ市を親善訪問して以来、両市の少年野球チームの親善交流試合が続いています。10回目の相互交流となった今回は、8月13日から豊中ローズ球場等で、全5試合が行われ、プレーヤーたちは、熱戦をくりひろげました。

試合日程		試合結果	
		豊中	サンマテオ
8月13日	第1試合	5	— 10 ○
8月14日	第2試合	2	— 6 ○
8月16日	第3試合	○ 15	— 1
8月18日	第4試合	4	— 8 ○
	第5試合	○ 9	— 1
総合試合結果		2勝	3勝

* 8/16 第3試合のみ原田少年野球場で開催

第1試合開始前に両チームによるセレモニーがあり、三河協会会長、齋藤助役らが始球式を行いました。

また、試合期間中、豊中ローズ球場の観覧席は大勢の市民で埋まり、熱心に試合展開を見守っていました。白熱した好ゲームには両市のプレーヤーに盛んな拍手、声援が送られていました。



豊中ローズ球場での第1試合開始前のセレモニー



熱戦が行われた豊中ローズ球場

8月16日、親善野球第3戦の後、緑に囲まれた千里中央公園に集い、少年野球連盟の人たちが中心となって、バーベキューパーティーが開かれました。試合の疲れも見せず、全員が協力して準備し、緑陰の中の交流パーティーとなりました。

バーベキュー パーティー

BARBECUE



歓談するサンマテオ訪問団の皆さん

観光&盆おどり



水槽を見つめる
サンマテオ訪問団の
皆さん

見学した大型児童館
「ビッグバン」

8月17日は親善試合も中休み、早朝から千里体育館に集合した少年野球連盟関係者、クレーア・マック市長ら訪問団、プレーヤーたちは、観光バス2台に分乗し、「海遊館」と堺市にオープンした大型児童館「ビッグバン」を見学しました。「海遊館」のような立体的な水族館はサンマテオ市の人たちにも珍しく、特に間近に見るジンベイザメの大きさに、一同感嘆の声をあげていました。

また「ビッグバン」では、みんな童心に返って楽しく過ごしました。

観光の後、夕方からは盆おどりです。青年会議所が日本文化を通して、ふれあい交流を進めようと服部天神境内を舞台に盆おどり大会が開かれました。最初は、見よう見まねで手足を動かしていた訪問団一行は、1時間もしない間に、もうすっかりおどりの輪の中に溶け込んでいました。

MATSURI

盆おどりの輪の中で
一緒におどるサンマテオの
人たち



服部天神にて記念撮影

さよならパーティー

SAYONARA PARTY



スピーチするサンディ・ウエンドランド会長と
サンマテオ親善訪問団の皆さん

サンディ・ウエンドランド会長あいさつ

皆さん、この一週間はなんと素晴らしかったことでしょう！この国はなんと素晴らしいのでしょうか！さよならとは決して言いたくありません。またすぐに会いましょう。サンマテオ姉妹都市協会の会長として、すてきな一週間を与えてくださった皆さんに感謝いたします。

1963年に、サンマテオから豊中を訪れた人たちにより、友好を確立して以来、両市の友情は強く永遠のものとなりました。私たちは、さまざまな交流を行い、お互いの市の発展に寄与してきました。しかし、交流の最も大切なものは、友情です。特にホストファミリーの皆さん、ありがとうございました。この一週間でサンマテオと豊中の少年たちの間には、永遠の友情が培われました。彼らは一生、この経験を忘れることはないでしょう。

皆さんに会うたびに、両市の絆はより強く、意義深いものになります。この特別な絆に取って代わるものではありません。新しい1000年を迎える2001年には、豊中の少年野球チームを招待したいと思います。どうもありがとうございました。

交流するサンマテオと
ホストファミリーの子どもたち



8月18日午後6時から千里阪急ホテルにて、さよならパーティーを開催しました。

パーティでは、ホストファミリーなどのテーブルスピーチにより、生活習慣の違いなどに驚きながら、共に暮らした1週間の思い出が披露され、にぎやかなパーティーになりました。その後、お互いにお別れの記念品の交換を行いました。名残は尽きませんでしたが、サンマテオ市の皆さんを拍手で送り出し、パーティーを閉会しました。



あいさつをする三河会長

See You Again

8日間があっという間に過ぎ、とうとうお別れの日がやってきました。大阪国際空港には、この1週間で知り合った人たちがホストファミリーなど大勢の人が見送りに来られ、日本で過ごした楽しかった日々の思い出を語り合い、別れを惜しみながら飛び立ちました。



大阪国際空港にて

親善訪問団全行程

日付	時 間	行 事 内 容
8/12 (木)	PM 0:47	東京から「ひかり157号」で新大阪駅に到着
	PM 1:30	マクドナルド東豊中店で昼食
	PM 3:00	千里阪急ホテルでホストファミリーと対面式
	PM 5:30	千里阪急ホテルで歓迎夕食会
8/13 (金)	AM 9:30	市役所表敬訪問と式典
	AM 10:00	市役所内見学
	AM 11:00	武道館、プラネタリウム館見学
	PM 4:00	豊中ローズ球場で親善野球第1戦とセレモニー
8/14 (土)	PM 4:00	豊中ローズ球場で親善野球第2戦
8/15 (日)		終日自由行動
8/16 (月)	AM 9:30	原田少年野球場で親善野球第3戦
	PM 1:00	千里中央公園でバーベキューパーティー
8/17 (火)	AM 8:30	「海遊館」と「ビッグバン」を見学
	PM 6:30	服部天神の盆おどり大会に参加
8/18 (水)	AM 10:00	豊中ローズ球場で親善野球第4戦
	PM 1:00	豊中ローズ球場で親善野球第5戦
	PM 6:00	千里阪急ホテルでさよならパーティー
8/19 (木)	PM 1:30	大阪国際空港から「JAL104便」で東京へ～帰国の途

THE 28TH ANNUAL ENGLISH SPEECH CONTEST

2000年1月29日、当協会主催の第28回英語弁論大会が、とよなか国際交流センターのイベントホールで開催されました。今年10校から男女あわせて24名が参加しました。



入賞者の皆さんの顔写真



豊中市長賞
星野 章さん
関西学院高等部3年



サンマテオ市長賞
塚田佳世子さん
大阪教育大附属池田高校1年



優 秀 賞
飯尾まどかさん
梅花高校2年



優 秀 賞
山崎美緒さん
桜塚高校2年



優 秀 賞
三上亜弥さん
梅花高校1年

豊中市長賞の星野章さんは「思いやりの大切さ」と題して、昨年3月の祖父の死を通して教えられた「思いやりのある心からの言葉の大切さ」を忘れることなく、人に対して思いやりの持った人間になれるよう努力したいと語りました。また、サンマテオ市長賞の塚田佳世子さんは「携帯電話」と題して、携帯電話をかけながら運転していた車とぶつかりそうになった経験を通して、携帯電話は便利であるが、マナーを守らないと大事故につながったり、周りの人に迷惑をかけることになるかと訴えました。

審査員は金蘭短期大学教授のジュディ・ガーナントさん、元金蘭短期大学講師のディビッド・ボールドウィンさん、大阪女学院短期大学講師のウィリアム・クラインさん、姉妹都市協会常任理事の川合隆子さんの4人をお願いしました。

弁論の後、発表の内容や発音などについて、各審査員に講評いただき、緊張のうちにも和やかな雰囲気の中で終わることができました。

なお、豊中市長賞の星野さんとサンマテオ市長賞の塚田さんは、今年8月に親善使節としてサンマテオ市へ派遣されます。

私たちのサンマテオ訪問記

第27回高校生英語弁論大会の豊中市長賞の垣内勇人さん、サンマテオ市長賞の細川喜世さんが、昨年8月にサンマテオ市親善訪問団の帰国にあわせて姉妹都市サンマテオ市に派遣されました。2人は現地で約一週間のホームステイを楽しむとともに、親善使節としての役割を果たしてこられました。訪問時の感動を感想文として寄せられたのでここに紹介します。

友好のかけ橋

垣内 勇人

小学校3年生から上野少年野球団に入部していた私は、先輩が豊中・サンマテオ親善交流少年野球チームの一員として選ばれ、親善野球試合に参加したことを聞いた時、「まるで夢のような話だ」と思いました。しかしその夢が親善使節として実現しました。『姉妹都市協会設立35周年記念』の夏にサンマテオ市を訪れる機会を与えていただいた喜びは、言葉で言い尽くせません。

サンマテオ市ではクレアー・マック市長さんを初め、多くの方々に温かく迎えていただき大変感激しました。クレアー・マック市長さんが「これからも一般市民が友好のかけ橋となるような、スポーツや文化・教育の交流を通じて姉妹都市活動を続けていきたい」と繰り返し話されていたことが印象的でした。

市庁舎では会議室や市長室も見学し、市長職や市会議員の仕事がボランティア活動の一部であると聞き、日米間の政治機関や社会構造の違いを学びました。どちらにも長所と短所があると思いますが、多くの問題を抱える日本の政治の現状を考えると、アメリカ方式に学ぶことも少なくないのではないかと感じ、今後さらに詳しく勉強していきたいと思いました。

サンマテオ市滞在中は、コーデリイさん一家がホストファミリーになってくださいました。長男の小学6年生のテドは、サンマテオの少年野球チームの選手として私の訪問の前に来日していたので、豊中ローズ球場へ親善野球試合の応援に行ったりして事前に仲良くなれたことはとても嬉しかったです。

サンフランシスコ空港から家に向かう車中で、テドが「プールで遊ぼう」と誘ってくれました。その日はとても天気がよく日差しも強かったので、「きっと気持ちいいだろうなあ」と思い楽しみにしながら家に到着しました。しかし、全くプールに出かけようとする気配がないので、「Shall we go to swim?」と尋



細長いスイカを抱えて 左：垣内さん 右：細川さん

ねてみると、なんと家の庭にプールがあったのです。驚きました！アメリカでは自宅用のプールは珍しくないという説明をホストマザーから受け、2度驚きました。広い土地や大きな空間に恵まれている生活が日本とは大きく違い、少しうらやましく思いました。

コーデリイさん一家は私をゲストとしてではなく、家族同様に扱ってくれました。テドの兄弟の小学3年生のバレットと小学1年生のランともすぐに仲良くなりました。限られたスケジュールの中で、ゴールデンゲート・ブリッジやゴールデンゲート・パーク、ロンバート・ストリート、フィッシャーマンズ・ワーフなど色々なところと一緒に案内してくださいました。

半日、バスで移動して訪れたヨセミテ公園では、山のようにそびえる大きな岩に圧倒されました。そして岩の頂上からの眺めは格別でした。人や車が箱庭の玩具のように見え、ハーフ・ドームやノース・ドーム、滝などを含む公園を一望のもとに見下ろすことができました。自然の偉大さを体で感じると同時に、この美しく貴重な自然を守っていけるような社会をつくっていかねばいけないと感じました。

あっという間に過ぎてしまった1週間でしたが、他では決して得られない素晴らしい経験ができました。お世話になった豊中市・サンマテオ市両市の皆さん、本当にありがとうございました。見えないところでたくさんの方々が、準備をしてくださったことにも深く感謝いたします。これからもたくさんの人々が両市の友好のかけ橋になり、交流の輪が大きく広がっていくことを願っています。



市長オフィスにて クレアー・マック市長と両ホストファミリー

一週間の思い出 細川 喜世

8月19日、サンマテオ少年野球チーム、今話題のソーサやマグワイヤのような未来の大リーガーたちと一緒に、一路サンマテオへ飛び立ちました。時差のため機内でぐっすり眠ろうと考えた私でしたが、とんだハプニングに巻き込まれました。私の隣に座っていた一人旅をしていたアメリカ人の少年がホームシックにかかって泣いてしまい、慰めているうちにとうとう空港に到着してしまっただけでした。少年野球団と一緒に来日していたホストファミリーのディマティオさんは、別の便で日本を出発していたので、ここで合流し、車で家に行きました。

「Hi! Nice to meet you! My name is Kiyo.」
「Hi! Nice to meet you! My name is Kiyo.」
「Hi! Nice to meet you! My name is Kiyo.」…
何度この言葉を繰り返したんだろうか。

家に着いてまず最初に思ったことは、「え！この家、一体何人家族なの？」でした。実は三世代の家族の方が集まっていたりして、上は50～60代の大人の方から下は1歳ぐらいの子どもまで15人以上はいました。ここでの生活の心配よりも、「全員の名前、覚えられるかなあ？」という心配の方が大きかったです。少し休憩をとった後、昼食を買いに近くのスーパーへ連れていってもらいました。ここでディマティオさんに「フルーツは何が食べたい？」と聞かれ、私は、「リンゴ」と答えました。するとディマティオさんは「どのリンゴ？」と聞き返してきました。（えっ？リンゴって確か一種類のはずじゃあ…）数秒後、リンゴ売り場に行って質問の意味がわかりました。目の前にあったのは、赤や緑の20種類のリンゴの山。その上、自分ではかりで量って買うのです！しばらくの間、私はあっけにとられてしまいました。

ここに滞在している間に、いろいろな所に連れていってもらいました。ディマティオさんの息子さんが経営しているとてもお

いしいピザ屋さん、「ゴールデンゲート・ブリッジ」や「フィッシャーマンズ・ワーフ」などのサンフランシスコ市内観光、家の近くの学校体育館で行われた「ビンゴゲーム大会」、ディマティオさんの息子さんの子供、ケーラちゃんのバースデイ・パーティー等々…。また私と同じ年のイーヴォンやその彼氏のポール、イーヴォンのおにちゃんのミゲルたちと一緒に夜遅くにボーリングをしに行ったり、家の中にあったビリヤードに生まれて初めて挑戦したり。本当に毎日毎日が楽しかったです。最初は不安に思っていた言葉の壁も毎日生活しているうちになくなり、本当の家族のように接することができるようになりました。その上、「ヨセミテ国立公園」の一泊ツアーに参加させてもらい、日本では絶対に見られないであろう壮大な自然に触れることができました。とてつもなく大きな岩に囲まれた森では野性のシカやリスが私たちの周りをチョロチョロと走り回り、あまりのかわいらしさに何回もカメラのシャッターを押してしまいました。日本では見たこともない手のひらにのらないぐらいの大きなまつぼっくりもたくさん見つけました。

一週間という本当に短い間だったけど、私一人では抱えられないぐらい、たくさんのお会いや思い出をトランクいっぱい詰めて持ち帰ることができました。これから先、もっと多くの人と出会ったり、触れ合ったりしたいなあと思ったとき、きっと今回のこのすばらしい経験が私の自信となり後押ししてくれることでしょう。いくつトランクを増やしていけるか、とても楽しみです。



両ホストファミリーの子供たちとともに

恒例とよなか国際 ネットワークまつり！

昨年、11月6日と7日の二日間にわたり、とよなか国際交流センターで、「とよなか国際ネットワークまつり」が開催されました。

この祭りは、地域で国際交流活動に取り組んでいるグループが毎年行っているものです。当協会もネットワークの一員としてサンマテオ市を写真パネルで紹介しました。当日は、歌や踊りが発表され、大いに盛り上がりました。

豊中市国際化施策推進 基本方針ができました。

豊中市は今年5月に、外国人も共に暮らす市民として、その人権擁護や生活支援など、地域の国際化を進めるための理念や目標を明らかにした国際化施策推進基本方針を策定しました。

その中で、姉妹都市交流については、市民主体の交流がさまざまな分野に広がるよう支援することが掲げられています。

この1年のできごと

新市長は ジャン・エプスタイン氏

昨年12月6日サンマテオ市議会の改選があり、クレアー・マック氏に代わり、ジャン・エプスタイン氏が市長に選出されました。

新メンバーは、次のとおりです。

市長 ジャン・エプスタイン氏
副市長 ゲーリー・イエーツ氏
議員 ジョン・リー氏
議員 スー・レンパート氏
議員 クレアー・マック氏

韓国大邱市から青少年 リコーダー合奏団が来豊

今年8月4日から8日まで、韓国大邱市から青少年リコーダー合奏団が来豊し、豊中市少年少女合奏団と交流演奏会を開きます。

この交流は1982年（昭和57年）から相互訪問を続けており、ホームステイや合宿をして親善交流を行っています。

サンマテオ市や大邱市だけでなく、世界中に交流の輪が広がればいいですね。

*演奏会 8月5日（土）14：00から
アクア文化ホールにて

第30号 2000年（平成12年）7月1日発行

豊中・サンマテオ姉妹都市協会
事務局 豊中市人権文化部
文化国際課国際交流係

TEL 06-6858-2504